

# 夜間学校 ニュース

1988年9月9日

西成区萩之茶屋2-8-9

旅路の里気付

釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中国人の

指紋押なつ拒否断固支持！

定住外国人に市民権を！

## 十年選手の多い野宿する仲間

目先のきくものは

遠い先がみえない？

みんなでつくろう

みんなの会館

三人よれば 何とかの 知恵

毎週金曜日

夜七時より

市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

六月の末から野宿をこ  
ける仲間達からの聞き取り  
をあとにしている。  
場所は、梅田・ナンバ・  
日本橋、四天王寺、心斎橋  
などで、すでに七十名近く  
の話を聞いた。

水曜日には梅田に行った

か、その時に話を聞いた仲

間は、二年近くいた若木の

飯場を出たあと、有馬記念

でスツテンテンになり、大  
阪駅で青マン、二ヶ月続け  
て体が悪くなり、一年半入  
院、退院後も梅田に居って  
青カンをやっているという  
人だった。

時には駅手配(五千五百

円、飯代千五百円)で仕事

にいたり、センターまで

来て十日契約に行ったりして  
いるという。

なぜ釜に住みつかないの  
かと聞くこと、人が多すぎる  
ということだった。

今は仕事は多い方だとい

うて、もう涼しくなってく

るし、いや、一度行ってみ

ようかといっていた。

その他の場所で聞いた人

を今改めて感じることは、野

宿をし、ダンボールなどを

集めて生活している人達の

中には、釜に来て十年以上

働き続けた仲間が多いとい

うこと、また、中学校を出

てから工場の中であり、現

場仕事で体を使い続けてき

たという仲間が多い。(あらへん)

### 仲間の死

本籍不詳、住居西成区萩

之茶屋1-13-11ビジネス

ホテル不二ヤ72号室、氏名

自称田淵富久男、年齢50歳

の男、着衣半袖青色ポロシ

ヤツ、青色ジーパン、遺留

金品現金320円、小銭入れ、

印鑑、指輪

右の者は、昭和60年5月

24日午後八時ごろ、西成区

萩之茶屋1-13-11ビジネ

スホテル不二ヤ72号室にて

発見されたもので、同日午

前10時ごろ、同所において

急性心臓衰弱のため死亡し

たものと思われる。

もとトビで、大和中央へ肝故を  
わづらったために入院した後、す  
ぐに左足がシビれるようになった  
仲間はいり。

センターで仕事を探して仕事を  
すると、九千五百円。わしは、以  
前とちがって勤けんから、それで  
も一生懸命ダンボールを集めて、  
多くて二千円。

一生懸命でいろいろことは、どち  
らも同じことなのに、なんで、こ  
んなにちがうんやろうか

今日は、ローソンで弁当を三つ  
も四つももらったから、みんなに  
も配れるけど、ダンボールを集ま  
なぐって金のない時は、やっぱり、  
ゴミ箱のフタをあけて、食べ物か

あつは食つる。そやけど、みんな  
本当はあつたかい物食つたいと思  
つてるんやぞ

そんな仲間たちが、自転車こぎ  
つてくる中、女中にケムはせたり、

通りすがりの自転車から、アキ金を  
投げつけられたりする。

今、釜には仕事が多い。体の調子  
さえよければ、釜に困ることはない  
だろう。

しかし、いつ、明日、センターに  
ゆても、車がーのもいないという事  
態がおとずれるか判らない。そして、  
いつ、体の調子がくづれるかもしれ  
ない。

ある意味では、そんな心配をする  
必要がないのが、釜ヶ崎かも知れな  
い。

しよせん、オウラは野垂れ死に、  
と思ひ定めれば、後は野となれ山と  
なり。

そういう人が、明日は休みかと聞  
くと、いや、お金の段取りがあるから  
当然、休めないという。

目の前のことには固く、長期的な見  
通しにはおかまいなし、いや、目をふ  
さぐ、そんな仲間が多いと思ひな